

ランナーと共に SDGs を推進！ 「第43回守谷ハーフマラソン」が茨城県初※のグリーン電力活用大会として 2027 年 2 月に開催されます！※2026 年 8 月時点 大会事務局調べ

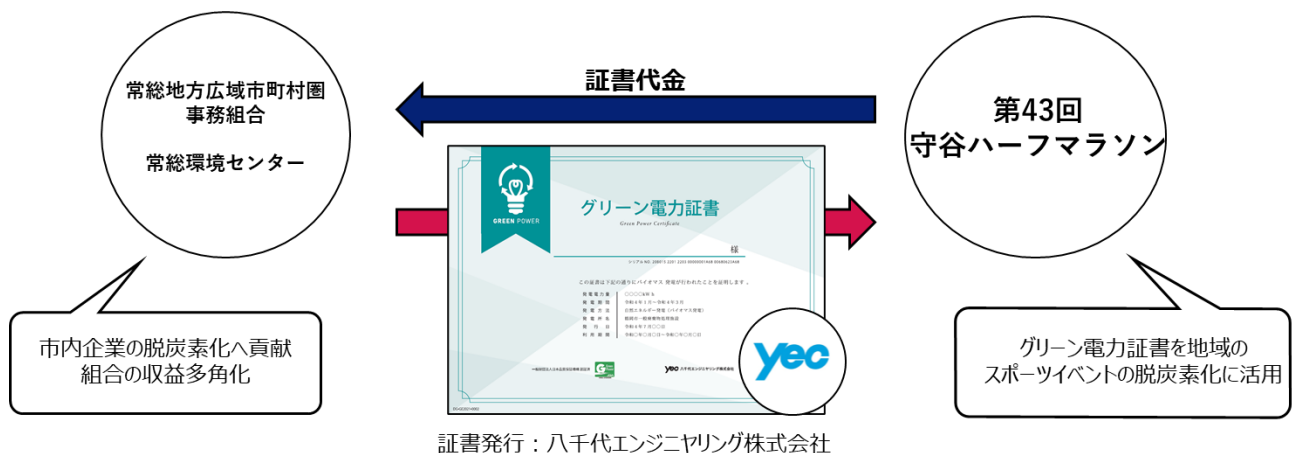
守谷市スポーツ協会（会長：安達孝志、以下「協会」）は、2027 年 2 月に開催される「第 43 回 守谷ハーフマラソン」において、常総地方広域市町村圏事務組合（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）内で創出されたグリーン電力証書を導入し、大会開催に伴い発生する CO2 のオフセットを実施いたします。

本大会で使用される電力は、[常総地方広域市町村圏事務組合](#)が運営する「常総環境センター」のバイオマス発電で創出された「グリーン電力証書」を活用してオフセットされます。地域で生産された再生可能エネルギーを地域で消費する「エネルギーの地産地消」を実現することで、地域経済の活性化や再生可能エネルギーの普及に貢献します。弊社は、グリーン電力証書の発行を通じて本大会を支援しています。

スポーツイベントで消費される電力における「エネルギーの地産地消」の実現は、守谷市内では初の先進的な取り組みとなります。

本取り組みによって、本大会で消費される約 2,000 kWh の電力由来の CO2（約 0.8 t-CO₂ 相当）がオフセットされます。

・グリーン電力証書発行概要



発電電力量：2,000 kWh

発電方法　：自然エネルギー発電（バイオマス発電）

発電所名　：常総環境センター

発行日　　：2026 年 8 月 21 日

■グリーン電力証書とは■

グリーン電力証書とは、再生可能エネルギーによって発電された電力が持つ「電力価値」と「環境価値」のうち、「環境価値」のみを抽出し、証明書として売買取引できるようにしたものです。再生可能エネルギーにより発電されたグリーン電力に含まれる環境価値を、証書発行事業者である弊社が、第三者認証機関（一般財団法人日本品質保証機構）の認証を得て「グリーン電力証書」として発行し、地域事業者に販売しています。

グリーン電力証書の詳細はこちら：<https://www.green-denryoku.com/>